■類型別の方針

水・緑

景観の骨格となる自然環境を保全し、新たな魅力創出に向けた素地をつくる

- ・今日まで受け継がれてきた九十九里平野の田園景観の広がりを活かした景観形成を図ります。
- ・豊かな自然環境と生態系に恵まれた谷津田景観の保全に取り組みます。
- ・丘陵地の景観を特徴づけるサンブスギの再生を目指します。
- ・下総台地と九十九里平野との境目に広がる連続した斜面林の緑の保全に取り組みます。
- ・保安林の再生や美化活動などを進め九十九里浜の白砂青松の景観の再生を目指します。
- ・成東・東金食虫植物群落やハマヒルガオなどの貴重な自然環境を後世へ継承していきます。

暮らしの場・まちなみ

自然と調和した暮らしの場を守り、 特色あるまちなみの作法をつくる

- ・屋敷林や槙の生け垣、自宅内等の暮らしの緑の保全・創出に取り組みます。
- ・丘陵や市街地、田園風景等、それぞれの地域が持つ魅力や、一体感を感じることのできる沿道景観の創出に取り 組みます。
- ・自然環境と調和し、人々の憩いの場となる公園や緑地景観の保全・創出に取り組みます。
- ・公共施設をはじめ、地域の顔となる拠点において、周囲と調和の取れた景観を創出します。また、道の駅オライはすぬまや成東駅前広場等では、人が集い、交流や賑わいを感じることのできる景観の創出に取り組みます。

歴史・文化

地域に根差した歴史・文化を守り、後世へとつなぐ

- ・文化財、古木・巨木、その他の歴史資源を認識し、後世へ継承していきます。
- ・歴史的資源を後世へ継承していくための人材育成や記録化に取り組みます。
- ・歴史的資源のある周辺地域においては、景観に配慮したまちなみの保全・創出に取り組みます。

歴史・文化

地域に根差した歴史・文化を守り、後世へとつなぐ

- ・文化財、古木・巨木、その他の歴史資源を認識し、後世へ継承していきます。
- ・歴史的資源を後世へ継承していくための人材育成や記録化に取り組みます。
- ・歴史的資源のある周辺地域においては、景観に配慮したまちなみの保全・創出に取り組みます。

活動・ 人の営み

生業の景観や人々の活動の輪を広げ、つなぐ

- ・市内各地で行われている自然環境保全やまちづくり活動等について情報を共有し、活動に協力します。
- ・活動団体同士や市民・事業者・行政が交流・連携する機会を創出します。
- ・地域の特徴であり、人々の愛着を醸成する祭りや伝統芸能を、将来に引き継いでいく景観として保全に取り 組みます。
- ・市内各地で開かれている、四季折々の移ろいを楽しむことができるイベント等の機会の継続・充実に取り組みます。
- ・農林水産業に見られる"人々の暮らし・営み"を理解し、後世へ継承する努力をします。

眺望

山武の魅力を体感できる眺望を守る

- ・高台や高い建物から遠方の田園を眺められるなど、広さを実感できる眺望の保全に取り組みます。
- ・眺望を阻害するような新たな建築物等が建てられることがないルール作りを進めます。
- ・眺望地点や眺望先においては、周辺に配慮した景観の保全・創出に取り組みます。
- ・良好な眺望の地点や眺望先の情報を共有し、協力して維持・管理に取り組みます。

■ゾーン別の方針

【丘陵ゾーン】

山と共に成り立ってきた自然と共生した丘陵の景観をつくる

市域の北部に位置する丘陵ゾーンには、サンブスギの森や谷津田、緑に囲まれた集落・住宅地をはじめ、自然と共生して営まれてきた里山の景観が見られます。そこで、良好な景観の保全や魅力の創出に向けて、山と共に成り立ってきた自然を守り、人々の生活と共生できる景観をつくります。

【市街地ゾーン】

歴史とまちなみとが調和した賑わいの市街地の景観をつくる

市域のほぼ中央、台地と平野部の境に位置する市街地ゾーンは、連続する斜面林の緑を背景に、総武本線及び国道 126 号沿道に市街地が広がっています。そこで、山武市の顔として魅力ある景観の創出に向けて、歴史とまちなみが調和した賑わいのある景観をつくります。

【田園ゾーン】

原風景としての九十九里平野の田園の景観をつくる

市域の南側に位置する田園ゾーンには、九十九里平野に広がる田畑の中に、生け垣や屋敷林の緑に囲まれた 農村集落が溶け込む景観が見られます。そこで、大きく変わることなく保たれてきた原風景として、田園の 景観をつくります。

【海浜ゾーン】

過去の記憶を今に伝える白砂青松の海浜の景観をつくる

市域の南部に位置する海浜ゾーンには、ハマヒルガオが彩を添える九十九里海岸や槙の生け垣のある住宅地、開放感のある沿道が見られます。そこで、白砂青松とうたわれた九十九里海岸の魅力創出に向けた景観をつくります。